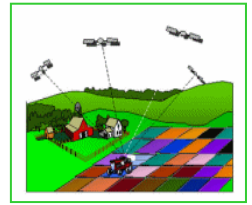


北海道情報化農業ニュース



北海道における持続的な農業の発展のための情報技術の活用促進
およびその健全な普及を図る。

●「独立行政法人農業環境技術研究所 30 周年記念・生態系計測研究ワークショップ」の開催案内 ●北海道 I T アジャイル戦略
通信 vol. 224 (関係分) ● ●

号外 2014. 01. 15

独立行政法人農業環境技術研究所 30 周年記念・生態系計測研究ワークショップ「リモートセンシングの食糧インテリジェンスへの戦略的利用に向けて」の開催案内と「北海道 I T アジャイル戦略通信 vol. 224 (関係分)」をお知らせします。

農業環境技術研究所 30 周年記念・生態系計測研究ワークショップ 「リモートセンシングの食糧インテリジェンスへの戦略的利用に向けて」

【趣旨】

独立行政法人農業環境技術研究所は、2014 年（平成 26 年）2 月 14 日（金曜日）、丸ビル・カンファレンススクエア Room 5（東京都千代田区丸の内 2-4-1）において、農業環境技術研究所 30 周年記念・生態系計測研究ワークショップ「リモートセンシングの食糧インテリジェンスへの戦略的利用に向けて」を開催します。

世界の人口は今世紀末には 100 億人に到達すると予測されていますが、地球規模の温暖化や異常気象の増加による食糧生産への影響が深刻化しています。しかも、市場経済のグローバル化にともなって、主要作物の生産力の変動は世界の作物需給の不安定化、価格の乱高下に直結しています。

このような背景のなか、主要作物の広域的な生産力の実態に関する正確かつタイムリーな情報の重要性はますます高まっており、地球観測衛星群によるリモートセンシングへの期待はきわめて大きくなっています。

そこで、本ワークショップでは、食糧安全保障や作物統計、被害査定などにかかわるインテリジェンスの根幹となる広域的な作物生産情報の収集に向けて、地球観測衛星群を高度かつ持続的に利用するため、センサ、データ、研究、利用などにおける今後の課題を議論します。

- 日時：平成 26 年（2014 年）2 月 14 日（金曜日） 13:00 ～ 17:00
- 場所：[丸ビル・カンファレンススクエア](#) Room 5（東京都千代田区丸の内 2-4-1）
- 主催：[独立行政法人 農業環境技術研究所](#)
- 対象：独立行政法人研究機関、公設試験・普及機関、行政部局、大学、民間企業、関連団体 など
- 参加：参加無料
参加を希望される方は、[事前参加登録](#) をお願いします。

■プログラム

- 13:00 開会の挨拶
(独) 農業環境技術研究所 理事長 宮下 清貴
趣旨説明
(独) 農業環境技術研究所 鳥谷 均
- 13:15 「食糧インテリジェンスに向けたリモートセンシング手法」
(独) 農業環境技術研究所 井上 吉雄
- 13:40 「高頻度観測衛星データ (MODIS) を用いた作物生育の広域評価」
(独) 農業環境技術研究所 坂本 利弘
- 14:05 「衛星 SAR データを用いた水田作付面積の高精度評価」
(独) 農業環境技術研究所 石塚 直樹

- 14:30 「我が国の衛星と食糧生産評価への応用（仮）」
 (独) 宇宙航空研究開発機構 大吉 慶
- 14:55 「食糧生産情報への国際ニーズと衛星画像の利用（仮）」
 (株) 日立製作所中央研究所 風間 頼子
- 15:30 「食料安全保障の基礎となる情報収集と利用」
 農林水産省大臣官房食料安全保障課 大塚美智也
- 15:50 「農業共済における被害査定の手順と広域情報ニーズ」
 (公) 全国農業共済協会 徳井 和久
- 16:10 総合討論
 「食糧インテリジェンスへのリモートセンシング高度利用に向けた方策、協力体制等について」
- 17:00 閉会
- 17:30 情報交換会

※詳細は、URL のページをご覧ください。 <http://www.niaes.affrc.go.jp/sinfo/sympo/h25/20140214.html>

◆◆◆◆◆ 北海道 IT アジャイル戦略 通信 vol.224 (関係分) ◆◆◆◆◆
 [編集・発行] 経済産業省 北海道経済産業局 情報政策課

「農村地帯における IT 活用の新たな展開と可能性」の開催について
 【NPO 法人グリーンテクノバンク】

【趣旨】

NPO 法人グリーンテクノバンクは、平成 26 年 2 月 4 日に「農村地帯における IT 活用の新たな展開と可能性」を開催します。「初山別村・暮らしを支えるネットワーク研究会」が中心となり平成 22 年から農村生活を支援する様々なアイデアを盛り込んだ低コスト無線 (S-WESS) システムモデルを構築してきました。
 このモデルを一つの到達点と位置づけて海外の動向等を踏まえて農村における IT 活用の新たな展開について議論を深めるためにシンポジウムを開催します。

- ◆開催日時： 平成 26 年 2 月 4 日 (火) 13:00~17:00
- ◆開催場所： 北海道大学学術交流会館 (札幌市北区北 8 西 5 011-706-2141)
- ◆参加費： 無料
- ◆主催： NPO 法人グリーンテクノバンク、農林水産省、初山別村・暮らしを支えるネットワーク研究会
- 共催： (一財) 日本気象協会北海道支社、(株) 北海道気象技術センター
- 後援： (予定) 経済産業省北海道経済産業局、北海道、初山別村

◆次第

- 1) 挨拶
- 2) 基調講演 13:40~14:40
 IT をフル活用する為の「情報薬」、その概念と社会応用
 札幌医科大学大学院医学研究科 生体情報形態学教授 辰巳 治之 氏
 (NPO 北海道地域ネットワーク協議会 会長)
- 3) 講演
 第一報告 初山別村 (S-WESS) モデルの概要と展開 14:40~15:00
 (株) 恵和ビジネス 執行役員 志田 雅章 氏
 第二報告 農業・食分野での IT 活用の発展方向 15:00~15:20
 経済産業省北海道経済産業局 情報政策課長 佐々木 隆明 氏
 第三報告 ICT、マーケティング、観光—オーストラリアの事例と可能性 15:20~15:40
 オーストラリア領事館 領事 イアン・ブレイジア 氏
 第四報告 地方における着地型モバイル情報発信の可能性と S-WESS モデルの発展方向 15:40~16:10
 北海商科大学商学部 教授 細野 昌和 氏
- 4) 意見交換
 コメンテーター 黒澤 不二男 (公益社団法人 北海道農業改良普及協会 会長)
 水島 俊一 (公益財団法人 北農会 常務理事)
 大水 秀之 (初山別村総務課 課長)

◆交流会： 17：30～ 百年記念会館レストラン きゃら亭

◆お申し込み

1月31日までに氏名、所属、交流会参加有無を明記して (gtbh@almond.ocn.ne.jp) 宛メールかファックス (011-210-4477) まで申し込んで下さい。

＜発行＞北海道高度情報化農業研究会
事務局：館山 則義
〒060-0005 札幌市中央区北5西6-1
公益財団法人北海道農業公社 総務部
TEL：011-241-7551 FAX：011-271-3776
e-mail：tateya@adhokkaido.or.jp

編集委員：丸山 健次 (酪農学園大学)
TEL&FAX：011-388-4864